

## 建築作品部門

### 低炭素型社会の促進

建築物の低炭素化の促進 低炭素型のライフスタイルの促進

## 縁日の家

この住宅の計画地は、南が道路に面した、南北に長い首都圏の郊外住宅地である。駐車場の奥に設けた庭が、主な居場所となるLivingの温熱環境・光環境の調整を行っている。屋根を南の庭に向けて伸ばして深い庇を作り、夏季の日射遮蔽を行っている。これに加え断熱・遮熱をしっかり行うことで周壁温度を下げ、夏に涼しい環境が実現している。冬季にはダイレクトゲインによって周壁温度を上昇させ、暖房付加の低減を図っている。庭からの反射光が天井で再び反射するため、安定した柔らかい光環境も実現している。またハイサイドライトからの反射光を室内の奥深くまで取り入れている。これによって、室内に程よい明暗のグラデーションができ、奥行きのある空間を作っている。

この住宅ではこれらの手法によって、屋外環境と室内環境のつながりが感じられるようになっている。室内環境向上のために、屋外環境が重要であることに気づくことによって、屋外環境への関心の高まりが期待される。そのことが、住宅1棟の環境への関心にとどまらず、周辺住宅街の環境への関心へとつながり、住み手が主体となったまちづくりを促進することにつながると考えている。



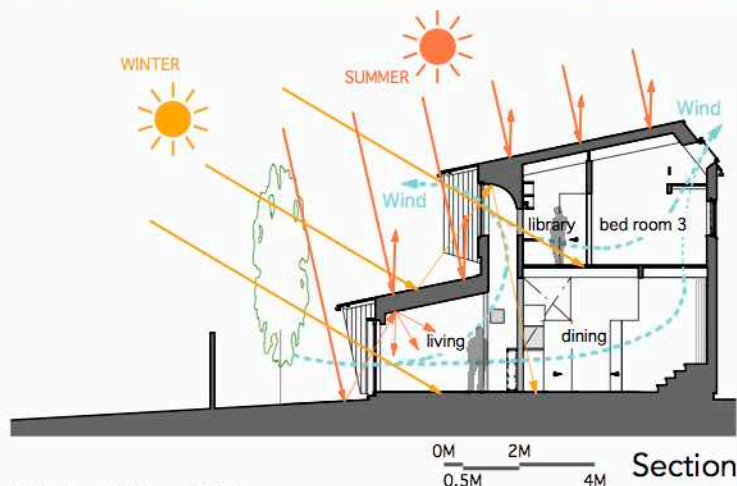
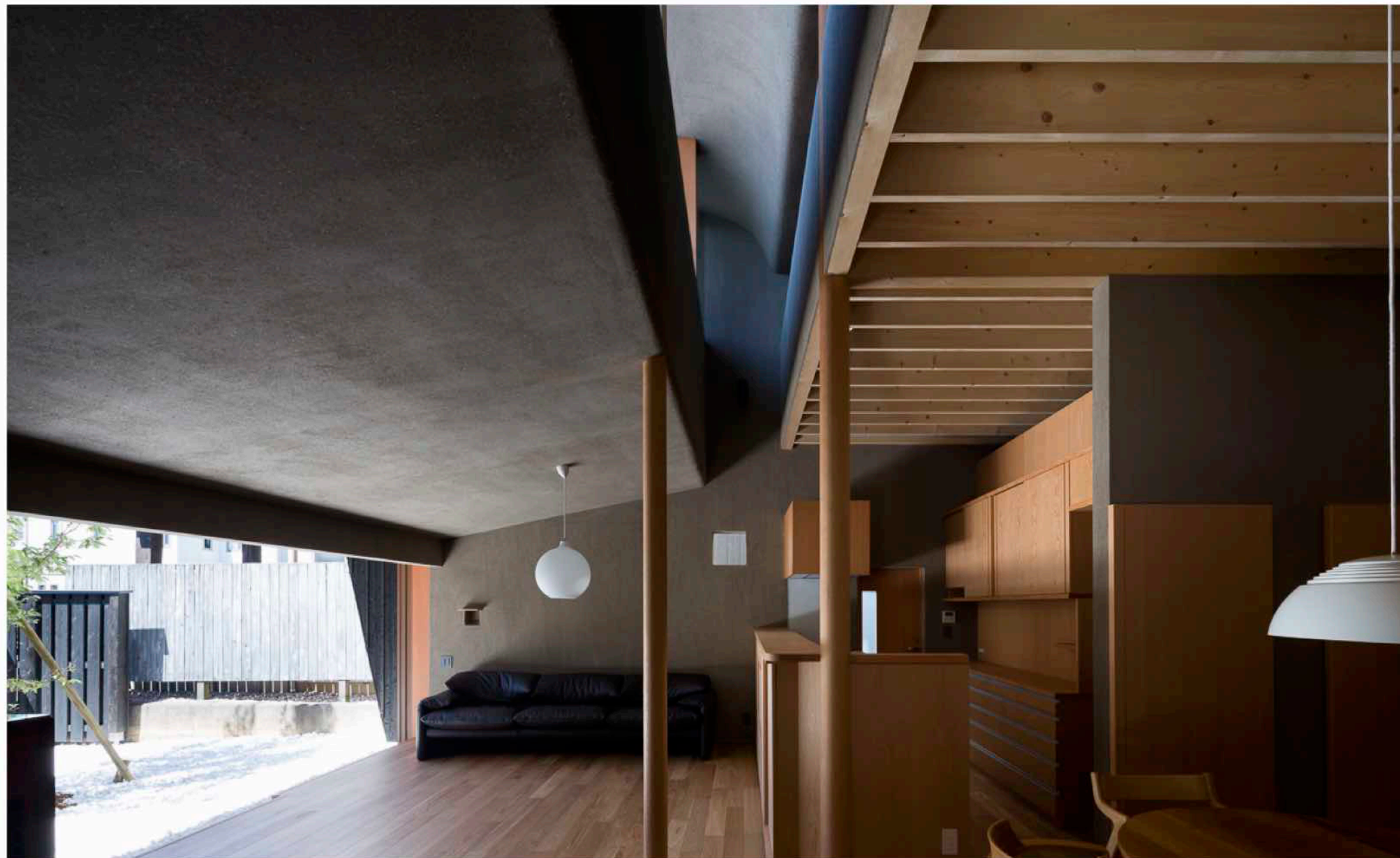
応募代表者：照井 康穂

北海道札幌市南区北ノ沢3丁目12-34  
株式会社照井康穂建築設計事務所

1992 (株)竹中工務店東京本店  
1996 (株)アープ建築研究所  
2007 照井康穂建築設計事務所 設立  
2014 (株)照井康穂建築設計事務所として改組

住宅や建築を手がけるにあたって、私たちはそこで感じることを、そこで行われるであろうことをとても大切に考えています。それが結果として、人の行動や気持ちをつくることにつながるからです。

例えば住まいの間取りやかたち、環境はそのためにつくられます。暮らしの器を、いとおいしい瞬間のために丹念にしつらえることが重要だと考えています。



所在地：茨城県つくば市  
構造・規模：木造2階建  
延床面積：114.12㎡ (34.52坪)  
建築面積：168.31㎡ (50.91坪)  
敷地面積：287.93㎡ (87.10坪)  
暖房方式：低温温水式床放射暖房  
暖房熱源：ハイブリッド (ガスボイラー+空気熱源HP)  
冷房方式：自然蓄冷床放射涼房+汎用エアコン (除湿利用)  
1F床の仕様：コンクリートスラブ t=150の上シタ-コンクリート t=60下地の上+フローリング  
窓の仕様：Low-Eペアガラス  
断熱仕様：  
壁：軸間 高性能グラスウール24Kt=100, 付加 ポリスチレンフォーム3種t=30  
屋根：ポリスチレンフォーム3種t=100+60

